

出版情報

書名・件名	厚生白書(昭和40年度版)
編集者・監修者	厚生省

昭和40年度厚生行政年次報告書の発表に際して

厚生省が昭和31年に最初の厚生行政年次報告書を発表して以来、「厚生白書」として広く国民各位に親しまれてきましたこの報告書も、このたびで第10回目を迎えるに至りました。

ご承知のように、昭和30年代は、わが国の経済が世界でも例をみないほどの高度成長を遂げた時期であります。一方、このめざましい経済成長の時期を通じて、経済社会の諸分野に必ずしも均衡成長がもたらされないうという側面もあらわれてまいりました。政府におきまして、つとにこの事態を重視し、特に経済発展に対応して国民生活が向上し、安定してゆくための施策を重点的に推進してまいることとしております。これは、一言で申せば、経済発展と均衡のとれた社会開発の推進ということであります。申すまでもなく、社会保障とその関連施策を担当する厚生行政は、まさにこの社会開発のための施策そのものを推進してゆく責務を負うものであります。

このたびの報告書においては、このような重要な使命をになつている厚生行政について、第1回目の年次報告書発足以来10年間におけるその進展をふり返りつつ、40年度の現況と今後の問題点を国民各位の前に明らかにすることを内容としております。

福祉国家建設をめざして社会開発を推進してゆくうえに厚生行政が今後進むべき道は、なお決して安易なものではないと考えます。今後の厚生行政の進展について、国民各位のいつそうのご支援とご協力をお願いするしだいであります。

昭和41年7月29日 鈴木 善幸 厚生大臣